

令和3年9月22日

福知山市議会議長 高橋 正樹 様

予算審査委員会委員長 芦田 眞弘

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第26号「令和3年度福知山市一般会計補正予算（第5号）」
- ・議第27号「令和3年度福知山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）」
- ・議第28号「令和3年度福知山市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）」
- ・議第29号「令和3年度福知山都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）」
- ・議第30号「令和3年度福知山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）」
- ・議第31号「令和3年度福知山市病院事業会計補正予算（第1号）」
- ・議第34号「財政調整基金の繰入れについて」
- ・議第56号「令和3年度福知山市一般会計補正予算（第6号）」
- ・議第59号「財政調整基金の繰入れについて」

2 審査の概要

9月14日、15日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。

各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第26号の「知の拠点」推進事業について、「大学院施設整備に係る調査・設計業務の業者選定の考え方」を問う質疑があり、「大学からは競争入札により業者選定したいと聞いている」との答弁がありました。続いて、「施設整備計画と財源」を問う質疑があり、「まずは教員ごとに45㎡程度の個室を確保したい。また、財源については今回、調査・設計業務のため市債での対応となったが、建築の際には地方創生関連の補助が獲得できるよう対応していきたい」との答弁がありました。

次に、教育集会所等移転統合事業（旧三岳小学校）について、「改修スケジュールと集約化・複合化により所管が跨ることになるが、今後の対応」を問う質疑があり、「当事業については、雨漏り改修工事が追加となっているが、年度内完成に向けて進めていく。校舎改

修に係る今後の対応は、人権推進室が取りまとめをしていく」との答弁がありました。続いて、「建物の管理責任者の取り扱い」を問う質疑があり、「地元の方が利用されることも含め、議論を重ね総合的に判断したい」との答弁がありました。

次に、三和支所施設管理事業について、「測量・設計業務として600万円が新規補正されているが、全体事業費の概算」を問う質疑があり、「個々に概略は積算しているが、一括工事となったため積算が出来ていない」との答弁がありました。

次に、保育士確保対策事業について、「保育補助者雇上強化事業10園、保育体制強化事業5園とした根拠と想定を上回る場合の対応」を問う質疑があり、「市内の園にアンケートを実施したうえで、効果的な制度となるよう設定した。また、想定を上回る際には対応できるように検討していきたい」との答弁がありました。続いて、「制度の対象となる職員」を問う質疑があり、「令和3年4月以降に雇われた職員で10月からを対象とする」との答弁がありました。

次に、民間保育所施設整備事業について、「民営化された下六人部保育園の老朽化に伴う園舎建替位置が都市計画道路上になることに対する認識」を問う質疑があり、「事前に説明もしており、ご理解いただいたうえで都市計画法第53条の許可申請をされている」との答弁がありました。

次に、子育て応援まちづくり事業について、「三段池公園総合体育館内の食堂リニューアルの詳細」を問う質疑があり、「親子の交流の場として位置づけ、食育活動などを実施し、土日の活用も図るため貸館として考えている」との答弁がありました。続いて「企業や地域事業者と連携した事業が計画されているが、昨今の社会状況を鑑みての対応」を問う質疑があり、「コロナの感染状況を踏まえ、延期や中止も含め、開催方法の見直しも検討する」との答弁がありました。

次に、(仮称)福知山鉄道館ポップランド建設事業について、「今後の施設整備における財源の寄附金が1億5,000万円となっている理由」を問う質疑があり、「頂いた寄附金は2億円であるが、一部は開館後の運営にも充ててほしいという寄附者の意向によるものである」との答弁がありました。また、「料金設定やスタッフなどオープン後の運営」を問う質疑があり、「今後、検討をしていく」との答弁がありました。

次に、放課後児童クラブ整備事業について、「備品購入費の詳細」を問う質疑があり、「多人数が接続できる環境や速度、各クラブの施設状況などから機器の選定を行っている」との答弁がありました。また、「Wi-Fi環境整備後の市民利用の可否」を問う質疑があり、「教育系ネットワークであり、一般の方は利用ができない」との答弁がありました。

次に、図書館電子書籍貸出サービス事業について、「業者選定の方法」を問う質疑があり、「入札やプロポーザルなどさまざまな形態があるが、今後の検討となる」との答弁がありました。また、「本事業の主な対象者をどのように考えているか」を問う質疑があり、「従来の来館型から非来館型でも利用が可能となることから、幅広い層を対象としている」との答弁がありました。

次に、議第27号の国民健康保険事業について、「国民健康保険事業基金の令和3年度末残高見込みと適正額」を問う質疑があり、「残高見込みは2億7,510万6,818円で

ある。保有額は一般的に給付費の5%程度と言われており、近年の給付費は約52億円であることから適正な金額であると判断している」との答弁がありました。

次に、議第28号の公設地方卸売市場事業について、「民設民営化に向けての協議状況と工事請負費の違い」を問う質疑があり、「民設民営化には京都府の認定が必要である。令和4年4月からの民設民営化に向け、現在も京都府と協議中であり、資料提供を求められている。工事費の違いについては冷蔵庫扉の仕様の違いによるものである」との答弁がありました。続いて、「今後の施設改修の考え方」を問う質疑があり、「今回の補正は、指定管理者との基本協定に基づくもので冷蔵庫、冷凍庫の修繕については、20万円以上は施設管理者である市となっている。民営化以降も大規模な改修など対応は必要となってくる」との答弁がありました。

次に、議第29号の石原土地区画整理事業について、「保留地の価格改定（値下げ）の詳細と近傍地との価格差」を問う質疑があり、「全体で7,982万4,023円、16.4%の改定となっている。㎡あたりでは平均5,798円である。近傍地との差については、㎡あたり約3万円から3万3,000円で販売されており、今回の改定により石原駅以北標準宅地で3万3,900円となる」との答弁がありました。

次に、議第31号の病院事業について、「現在の機器の使用年数と治療実績」を問う質疑があり、「平成17年に設置した機器である。治療実績は令和2年度が23人、令和3年度は8月末で26人となっている」との答弁がありました。

次に、議第34号及び議第59号の財政調整基金の繰入れについて、「新型コロナウイルス感染症関連事業への財源確保の考え」を問う質疑があり、「財政調整基金は今年度、新型コロナウイルス感染症関連事業の財源として、約7億1,000万円の繰入れとなる。約8,630万円の地方創生臨時交付金の内示をいただいているが、コロナ関連事業は今後も継続すると考えており、今後も不足する財源の確保に向け要望を続けていきたい」との答弁がありました。

次に、議第56号の福知山市月次支援事業について、「国の月次支援金の80%を設定した理由」を問う質疑があり、「福知山市緊急事態措置協力金対象外事業者応援事業と本事業の期間・支給総額のバランスを考慮して設定したものである」との答弁がありました。

次に、子育て世帯等感染症拡大防止クーポン事業について、「業務の委託先・内容と子育て世帯に限定した理由」を問う質疑があり、「委託先は検討・調整中で、内容は高齢者等クーポン事業を参考にしていきたい。理由については、全国的に子どもたちへの感染が拡大していることやワクチン接種の状況、また2学期が始まり子どもたちが集まる状況などを勘案した」との答弁がありました。

次に、自宅療養者等配食サービス事業について、「事業の啓発方法と個人情報の取り扱い」を問う質疑があり、「保健所から案内される文書と並行して市としても広報していく。個人情報の取り扱いについては、保健所・市・事業者の間で最低限の情報に制限したうえで運用していく」との答弁がありました。

なお、議第30号についての質疑はありませんでした。

討論は、ありませんでした。

3 審査結果

- ・議第26号 賛成多数で原案可決
- ・議第27号 全員賛成で原案可決
- ・議第28号 全員賛成で原案可決
- ・議第29号 全員賛成で原案可決
- ・議第30号 全員賛成で原案可決
- ・議第31号 全員賛成で原案可決
- ・議第34号 全員賛成で原案可決
- ・議第56号 全員賛成で原案可決
- ・議第59号 全員賛成で原案可決